

入学式 告辞

筑後川の清く豊かな流れに春の風がそよ吹くこの佳き日に、平成27年度久留米工業高等専門学校入学式を挙げて下さることを心よりお慶び申し上げます。

本科・専攻科の入学生・編入学生・留学生の皆さん、ご入学おめでとうございます。入学生の皆さんをこれまで支えて来られた保護者の皆様にとりまして、そのお喜びは如何ばかりかと推察申し上げます。重ねてお祝い申し上げます。

また、本日の入学式に際しまして、山下寛存後援会長様をはじめご来賓の皆様には、お忙しい折柄、ご臨席を賜り、厚く御礼申し上げます。

入学された皆さんの学業の場は、今日からここ久留米高専に移り、人生にとっても、新たな1ページが始まります。今日は、これまでの皆さんの人生の中で最も大きな喜びの中にあるのではないかと思います。この感激をいつまでも忘れずに、今後とも勉学に励んでください。

ご入学に際して、まず、学問を志す人の誰しもが口ずさむ有名な言葉を紹介することにします。それは、「学^{くら}びて思^{おも}はざれば則ち^{すなは}ち^{あやふ}し、思^{おも}ひて学^{くら}ばざれば則ち^{すなは}ち^{あやふ}し」という言葉であります。論語為政編の一節です。その意味は、人から学んでも自分でものを考えないと学んだことははっきりしないし、また、自分勝手にものを考えて人から謙虚に学ばないと危なっかしい、独りよがりになるおそれがある、という意味です。人には、どちらかという「学^{くら}ぶ」と「思^{おも}ふ」の2つのタイプがあるかと思えます。また、人によって、そのタイプは様々であると思えますが、自分がどちらのタイプに属しているかを考えることは、自分の学習上の強みと弱みを知ることになり、学問を進めるうえで極めて有益だと思えます。「学^{くら}ぶ」と「思^{おも}ふ」ことの双方をよく知り、自らの志す工学の専門分野を究めて行ってほしいと思えます。

昨年度、本校は、その前身の久留米高等工業学校がここ小森野の地に創設されてから75周年、現在の工業高等専門学校の歩みを始めてから50周年を迎え、秋には記念行事が行われました。皆さんは、本校を卒業・修了された1万3千余の先輩たちが築き上げてきた輝かしい歴史と伝統を受け継ぐとともに、久留米高専のキャンパスに新しい息吹を吹き込むという気概をもって、学業に勤^{いそ}んでほしいと思えます。

久留米高専では、教育理念に「自立の精神」(Spirit of Independence)、「創造性」(Creativity)、「広い視野」(Broad Vision)、「豊かな心」(Humanity)の4つを掲げています。そのいずれもが、社会にとって有為なエンジニアの育成を使命とする高等教育機関として欠かすことのできない理念であります。このうち、私の最も好きなものを1つ挙げるとすれば、「自立の精神」(Spirit of Independence)であります。言うまでもなく、学ぶことの主体は自分自身であります。皆さんは、誰に強制された訳でもなく、自分自身の強い意思で、難関の試験を突破して、この久留米高専に入学されました。今後の久留米高専での学業においても、そのことを常に胸に秘めて、自ら進んで学んでください。

いっぽう、「自立」は、個人の勉学の成否を自分自身が負うという点で厳しい側面も有しています。皆さんの学業には、「自立」とともに、「自己責任」が随伴しているということでもあります。久留米高

専は、大学と同等の高等教育機関であります。皆さんは、今日から、「生徒」ではなく「学生」と呼ばれることとなります。「自立」とともに「責任」を肝に銘じて、学業生活を送り、卒業や修了を目指してください。

と申しても、それは私たち教職員が入学早々から皆さんを突き放すということを意味するものではありません。久留米高専では、高校初年程度の学習から大学工学部卒業レベルまでのエンジニア育成のための独自の教育プログラムを持っています。そのプログラムに基づいた指導に従って、一生懸命学習すれば、必ずや皆さんの学業は成功を収めるはずです。この他にも、久留米高専では、様々な学生支援と学生指導の取り組みがあります。学生寮においても、懇切丁寧な運営がなされています。

皆さんは、いま、新しい学業生活への抱負と期待に胸ふくらせるとともに、心中には幾許かの緊張感や不安感を覚えているかもしれません。しかし、私たち教職員は、この1年間、様々な行事の度毎に、たくましく、かつ立派に成長されていく皆さんの姿を見ることとなります。皆さんもどうか私たちの期待に応えて行ってほしいと思います。

久留米高専では、皆さんの先輩たちのたゆまぬ研鑽と努力のおかげもあって、進路は、就職・進学ともにいたって順調であります。皆さんが5年後、7年後に自分の進路を決めた瞬間の笑顔を中心に描いて、本日のめでたき入学の日の校長告辞とさせていただきます。

平成27年4月6日

久留米工業高等専門学校長
三川 譲二